

関 係 各 位

2022年12月27日

公益財団法人日本国際フォーラム理事長  
渡辺 まゆ

この度、日本国際フォーラム(JFIR)は、同志社大学様協力のもと、1月16日(月)に、日本のハイブリッドパワー研究会「京都シンポジウム：日本外交総合戦略の中のソフトパワー」を下記要領(登壇者情報別途)にて開催することになりましたので、下記のとおりご出席をご案内申し上げます。

近年、コロナのパンデミックやロシアのウクライナ侵攻をはじめ、世界の価値観や秩序が変容するなかで、各国のもつソフトパワーに関心がむけられました。

軍事力や経済力等の対外的な強制力によらないソフトパワーの概念は、世界の動向を見据えていくうえで、必要な指針になっていくことが考えられます。

今後日本においては、人口減少による経済成長の伸び悩みが懸念されているなかで、日本の強みとは何か、そして世界から日本は何を求められているのか、それらを冷静に俯瞰し議論していく必要があるのではないのでしょうか。

そのような問題意識のもと、本シンポジウムでは、渡邊啓貴・日本国際フォーラム上席研究員、浅野亮・同志社大学教授、等松春夫・防衛大学校教授、大野直樹・京都外国語大学准教授、八木匡・同志社大学教授、太下義之・同志社大学経済学部教授、河村晴久・能楽師、濱崎加奈子・京都府立大学准教授(プログラム登場順)などをパネリストにお招きし、「文化と外交を結ぶ物語」および「国家ブランディングのための日本文化の力」の2つのセッションにて議論を行います。

#### 記

1. 日 時：2023年1月16日(月) 14時30分—17時30分
2. 会 場：同志社大学今出川キャンパス 良心館 RY305
3. 主 催：日本国際フォーラム
4. 協 力：同志社大学ライフリスク研究センター・同志社大学創造経済研究センター  
一般社団法人虚空会

5. プログラム：

挨拶：渡辺まゆ(日本国際フォーラム理事長)：「世界のソフトパワーインデックスと日本」

**第1セッション「文化と外交を結ぶ物語」**

議長：渡邊啓貴（帝京大学教授・東京外国語大学名誉教授・日本国際フォーラム上席研究員）

報告A：渡邊啓貴（同上）

：「総合外交戦略としての文化外交—フランス外交から考える—」

報告B：浅野亮（同志社大学教授）：「日中関係の中の文化外交」

報告C：等松春夫（防衛大学校教授）：「イギリス国家の変容と‘公共音楽’ 1897～1953」

報告D：大野直樹（京都外国語大学准教授）：「冷戦期アメリカの文化外交」

自由討論：参加者全員

**第2セッション「国家ブランディングと外交のための日本文化の力」**

議長：八木 匡（同志社大学教授）

報告A：太下 義之（同志社大学経済学部教授、一般社団法人虚空会会員）

：「レトリックとしての『クール・ブリタニア』」

報告B：河村 晴久（能楽師）：「能から見る日本文化の真髄と文化交流の可能性」

報告C：濱崎 加奈子（京都府立大学准教授、有斐斎弘道館館長）：「日本文化の本質」

自由討論：参加者全員

全体統括：渡邊啓貴（同上）

八木 匡（同上）

6. 参加費：無料 ※定員になり次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申込ください。

7. 申込方法：下記「申し込みフォーム」より、必要事項をご記入の上、事務局宛にご応募ください。

<https://forms.gle/8xLEiAgm8sdDjpx66>

<本シンポジウムに関する連絡先>

日本国際フォーラム事務局

(港区赤坂 2-17-12-1301 TEL：03-3584-2190 MAIL：[meeting@jfir.or.jp](mailto:meeting@jfir.or.jp))



## 登壇者情報（プログラム登場順）

### 第1セッション

#### 渡邊 啓貴

帝京大学教授/東京外国語大学名誉教授/日本国際フォーラム上席研究員



1978年東京外国語大学外国語学部フランス語学科卒業、慶應義塾大学院法学研究科博士課程修了、86年パリ第一大学現代国際関係史専攻博士課程DEA修了。その後、京都外国語大学・東京外国語大学助教授、同教授等を経て、同国際関係研究所所長。その間、高等研究大学院（パリ）・ジョージ・ワシントン大学など客員教授、在仏日本国大使館広報文化担当公使・外務省隔月刊雑誌『外交』『Cahier du Japon』編集委員長を歴任。現在、国際歴史学委員会(CISH)理事(事務局イタリア)。単著『ミッテラン時代のフランス』（芦書房）渋沢クローデル賞、編著『フランスと世界』（法律文化社）で日仏経営学会

優秀賞を受賞。『フランス文化外交戦略に学ぶ』（大修館書店）、『フランス現代史』『アメリカとヨーロッパ』（中央公論新書）、『現代フランス』（岩波書店）、『米欧同盟の協調と対立』（有斐閣）、『シャルル・ドゴール』（慶應大学出版会）、最近著（監修・JFIR編）『ユーラシアダイナミズムと日本』（中央公論新社 2022年）。

---

#### 浅野 亮

同志社大学教授



1955年生まれ、国際基督教大学卒業。

日本国際問題研究所研究員、姫路獨協大学教授など歴任後2004年より現職。

専門は現代中国政治、安全保障。

## 等松春夫

防衛大学校国際関係学科教授／国際日本文化研究センター客員教授



1962年米国パサデナ市生。専攻は政治外交史・比較戦争史。筑波大学（ヨーロッパ史）、早稲田大学大学院（政治学）を経て、オックスフォード大学大学院修了（国際関係論）。Doctor of Philosophy (Oxon.)。主要著書『日本帝国と委任統治』（名古屋大学出版会）、『大いなる聖戦—第二次世界大戦全史』（訳書、国書刊行会）。1991～97年の留学中に英国音楽の魅力に目覚める。エルガー《エニグマ変奏曲》、《南国にて》、ホルスト《惑星》等のスコア解説を執筆。英国エルガー協会とホルスト協会の会員。半澤朝彦編『政治と音楽』（晃洋書房）に執筆。

---

## 大野直樹

京都外国語大学外国語学部英米語学科准教授



2003年、京都大学総合人間学部卒業。2010年、京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。博士（人間・環境学）。都留文科大学教養学部准教授を経て2021年より現職。

専門はアメリカ外交史、インテリジェンス研究。主著『冷戦下CIAのインテリジェンス トルーマン政権の戦略策定過程』（ミネルヴァ書房）。

## 第2セッション

### 八木 匡

同志社大学経済学部教授/日本経済学会理事/文化経済学会<日本>会長



専門：公共経済学、スポーツ経済学、文化経済学、教育経済学 経済学博士

名古屋大学大学院経済学研究科博士課程単位満了退学。京都大学経済研究所助手、名古屋大学経済学部助教授を経た後、現在同志社大学経済学部教授、日本経済学会理事。(2002年～2007年)、文化経済学会<日本>会長(2018年～2020年)

主著:European Economic Review 等海外学術雑誌等に論文を多数掲載。『教育と格差』、『スポーツの経済と政策』、『スポーツの組織文化と産業』、『The Kyoto Manifesto for Global Economics: The Platform of Community, Humanity, and Spirituality』等の著書を執筆。

---

### 太下 義之

同志社大学教授/国際日本文化研究センター客員教授



文化政策研究者、博士(芸術学)。同志社大学教授、国際日本文化研究センター客員教授。文化経済学会<日本>理事、文化政策学会理事、政策分析ネットワーク共同副代表、デジタルアーカイブ学会評議員。文化庁文化審議会博物館部会委員。独立行政法人日本芸術文化振興会「日本博」アドバイザー、公益財団法人静岡県舞台芸術センター(SPAC)評議員。大阪府・2025年万博アカデミック・アンバサダー、あいちトリエンナーレのあり方検討委員会委員(2019年度)、鶴岡市食文化創造都市アドバイザー。東京文化資源会議幹事、など文化政策関連の委員を多数兼務。単著『アーツカウンシル』(水曜社)。



## 河村 晴久

能楽師・同志社大学客員教授



父河村晴夫の教えを受け3歳にて初舞台。林喜右衛門師に師事。重要無形文化財「能楽」総合認定保持者。公益社団法人能楽協会京都支部長。同志社大学大学院文学研究科(博士課程前期)修了。ハーバード大学やユネスコ本部など海外での講演は50回を越える。2005年度文化庁文化交流使。2020年京都府文化賞功労賞受賞。

---

## 濱崎 加奈子

京都府立大学文学部和食文化学科准教授



京都大学文学部卒業、東京大学大学院総合文化研究科修了。学術博士。京都府立大学文学部和食文化学科准教授。伝統文化プロデューサーとして社寺の行事や伝統文化の数々を再興。江戸時代の学問所を再興し、公益財団法人有斐斎弘道館館長。Living History in 京都・二条城会長として、国宝二の丸御殿における歴史再現事業に取り組む。著書に『京都かがみ』『香道の美学』、監修に『京都二条城と寛永文化』などがある。